

## 令和4年 茨城労働局管内の熱中症による死亡災害発生事例

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	災害の概要
1 6月 10～11時	作業員・ 技能者 50歳代 16年	道路建設 工事業	<p>国道の歩道脇において、コンクリートブロックの設置作業中、めまいの症状を示したため、休息したものの回復しないまま意識不明となり、病院に搬送されたが、約2か月後、熱中症の疑いで死亡した。</p> <p>当日の最高気温は37.1度を記録していた。</p>
2 7月 10～11時	作業員 20歳代 1年	その他の 建設業	<p>労働者Aは、太陽光発電所建設工事現場で、朝から太陽光発電施設の架台組立、パネル設置の作業を行っていたが、午前の休憩後に体調不良となり病院に搬送され、翌日、熱中症の疑いで死亡した。</p> <p>当日の最高気温は34.4度を記録していた。</p>
3 8月 15～16時	販売店員 50歳代 11年	小売業	<p>労働者Aは、ガソリンスタンドにおいて、午前中から給油、洗車作業を行い、午後になって洗濯したウエスを干す作業をしていたところ、倒れているのを発見された。病院に救急搬送されたが熱中症の疑いで死亡した。</p> <p>当日の最高気温は36.1度を記録していた。</p>

注) 当該事例は、労働災害の速報等をもとに作成したものであり、今後、修正等する場合があります。